

市報

くらよし

まちづくりキャッチフレーズ 人と自然と文化がつくる「キラリと光る新中核都市」



時を超えて非運の主従に思いを馳せる 第22回倉吉せきがね里見まつり

9月2日(日)、「第22回倉吉せきがね里見まつり」が開催されました。倉吉市は、滝沢馬琴の小説「南総里見八犬伝」のモデルといわれる安房国・館山城主(千葉県館山市)里見忠義公と8人の忠臣が生涯を終えた地になります。無実の罪で若くして非業の死を遂げた忠義公とその家臣をしのいで、この日はたくさんのイベントが行われました。

「里見時代行列」では手作り甲冑に身を包んだ小学生を含む市民約25人が大岳院(東町)で忠義公の墓参りをした後、勇壮な武将姿で里見忠義主従の廟がある堀地区までを練り歩きました。

また、堀地区の山守小学校では、児童が「八犬士」を演じる「子供歌舞伎」が行われ、練習を重ねた子どもたちの好演に大きな声援と拍手が贈られました。

CONTENTS

- 活用していますか?介護サービス……2~3
- 前田寛治大賞展……………4
- ソナチャン・イヤギ
 /秋の全国交通安全運動……………5
- 保存樹紹介⑤/鳥取県総合芸術文化祭……6
- くらよし女子駅伝/日本海駅伝……………7
- ほうきりサイクルフェア/指定管理者……8
- インフォメーション……………9~13
- あんしんファイル……………14~15
- 若者の定住化に向けて/人口……………16

活用していますか？

介護サービス

介護のために、趣味をやめる？

今年5月に実施した、市民意識調査の中で、「家族の介護のために、自分の趣味をあきらめた」というご意見が複数ありました。

家族を一日中、しかも、毎日、家の中でお世話することは、時として負担を感じることがあります。

介護サービスを組み合わせることで、介護者もひととき、自分の時間を持ち、リフレッシュすることも必要です。

介護サービスの「はじめ」

介護サービスを利用するには、まず、「要支援」・「要介護」の認定を受ける必要があります。市の窓口で申請手続きをしてください。

在宅でサービスを受けたい

場合は、あらかじめ「ケアプラン」の作成が必要になりますのでご相談ください。認定を受けると、状態に応じた各種サービスが利用できるようになります。

① 自宅で利用する

「ホームヘルプサービス」や「訪問看護」は、ホームヘルパーや看護師が自宅を訪れ、身の回りのお世話や、療養上のお世話、身体介護などを行います。

また、「訪問入浴」や「訪問

リハビリ」など、浴槽を積んだ入浴車などが自宅を訪れ、入浴を行ったり、専門職が行うリハビリテーション、医師、歯科医師、薬剤師、歯科衛生士などが、療養上の管理や指導するものなどもあります。



② 施設に通う、泊まる

「デイサービス」や「デイケア」は、在宅の支援・介護が必要な人が、車で送迎を受け、施設に出向き、入浴や食事、レクリエーションを楽しんだり、介護、機能訓練などの必要な療養や日常生活の介助を受けることができます。

「ショートステイ」は、在宅の利用者の家族が一時的に家庭での介護が難しくなったときに利用できます。短い期間だけ施設に入り、看護や機能訓練、介護などを受けることができます。



③ 住み慣れた地域のままで

●グループホーム

認知症で、介護を必要とする人たちが9人程度で共同生活を営む住居で介護を行います。

これまでの生活環境をで

きるだけ変えないよう配慮され、地域に根ざした施設で、家庭的な雰囲気の中で、家庭的な雰囲気の中で機能訓練を受けることができます（※要支援1の人は利用できません）。

④ 施設に入所する

●介護老人福祉施設

常に介護が必要で、自宅での介護が難しい人が入り、日常生活などの介助を受けます。

●介護老人保健施設

●病状が安定し、リハビリテーションに重点を置いたケアを必要とする人が入り、医学的な管

理のもとで介護や機能訓練を受けます。

●介護療養型医療施設

●病状が安定し、長期間の療養が必要な人が入り、医療や看護、介護などを受けます。

※ただし、要介護1～5の人のみ利用できるサービスです。



介護予防

介護予防ワンポイント

9月17日は「敬老の日」です。「多年にわたり社会につくしてこられた老人を敬愛し、長寿を祝う」として作られました。そして9月15日から9月21日までの一週間は「老人週間」です。世代を超えて、高齢になっても安心して暮らせる社会づくりや超高齢社会の中で高齢者自らが高齢期のあり方について関心と理解を深めていくことを目的にできたものです。このキャンペーンのひとつに高齢者の介護予防、生きがい、健康づくりへの取り組みを進めよう。という目標があります。

「活動的な85歳をめざして」いつまでもいきいきと自分らしく生活できるように出かける習慣をつけ、人と交流していきながら介護予防の取り組みをできることから始めていきましょう。

介護予防教室のお問い合わせは最寄の地域包括支援センターへ。

介護サービスを利用したとき、サービス費用の1割を利用者が負担して、残りの9割は介護保険から給付されます。
 (※施設利用の場合は利用料のほかに食費や部屋代、光熱費がかかります)

介護サービスを利用したとき、サービス費用の1割を利用者が負担して、残りの9割は介護保険から給付されます。
 (※施設利用の場合は利用料のほかに食費や部屋代、光熱費がかかります)

⑥費用の負担を軽くする

【借りる】
 貸出料の1割を負担して介護用ベッドなどの指定された福祉用具が借りられます。(※貸出料は用具の種類や事業者によって異なります)

【買う】
 ポータブルトイレなどの指定された福祉用具の購入費(※指定事業所での購入のみが対象になります)、指定された住宅改修をした場合の改修費用の9割が支給されます。(※事前に市に申請が必要です)

⑤生活環境を整える

ホッといきいき教室

～介護予防教室～

65歳以上の介護認定(要支援・要介護認定)を受けていない人を対象に閉じこもりを予防し、いつまでも元気で過ごせるよう介護予防教室を開催します。

と き: 9月26日(水)
 午前10時30分から午後3時

内容
 (午前)ミニ講演「美味しく食べよう」
 講師: 谷口栄養士(健康支援課)
 体操「からだを楽しく動かそう」

(午後)自由時間(頭の体操、ニューススポーツ、健康相談など)
 ところ: グリーンスコーレせきがね
 参加料: 1,200円(昼食・入浴料)程度
 募集条件: 65歳以上で、介護認定を受けていない人。

※毎月、申し込み必要。
 ※送迎希望の人は、送迎します。
 ※申込・問合せ先: 長寿社会課
 (☎22-7851)

認知症「家族の集い」

介護家族・介護体験者が参加して、お互いが抱えている悩みを語り分かち合い、情報交換したり、何でも話し合える場です。お気軽にご参加ください。

【関金会場】
 と き: 10月5日(金)
 午前10時～正午(定例第1金)
 ところ: 倉吉市高齢者生活福祉センター(関金町関金宿/☎45-3888/FAX45-2533)

【倉吉会場】
 と き: 10月18日(木)
 午前10時～正午(定例第3木)
 ところ: ヘルパーステーション蔵まち(幸町)
 ※問合せ先: ヘルパーステーション蔵まち(☎24-0371/FAX24-0372)/長寿社会課(☎22-7851/FAX22-7020)

認知症の講演会

認知症って何?日ごろの疑問に最新情報を盛り込んだ講演です。どなたでも参加できます。参加希望の人は、お申し込みください。

と き: 10月6日(土)
 午後1時30分～3時

ところ: 高城公民館
 内容: 講演「認知症について正しく理解しよう」
 講師: 鳥取大学医学部教授 浦上克哉さん

参加料: 無料
 申込期限: 9月29日(土)
 ※申込・問合せ先: うつぶき地域包括支援センター(☎26-6378)



介護予防教室に参加しましょう

教室の開催予定などについてはお住まいの地区担当の地域包括支援センターにお問い合わせください。

- ・ * * * * * 【上北条・社・高城地区】うつぶき地域包括支援センター (☎26-6378)
 - ・ * * * * * 【明倫・小鴨地区】明倫・小鴨地域包括支援センター (☎23-7106)
 - ・ * * * * * 【上井・西郷・灘手地区】マグノリア地域包括支援センター (☎26-3922)
 - ・ * * * * * 【北谷・上小鴨・関金地区】かもがわ地域包括支援センター (☎45-3888)
 - ・ * * * * * 【上灘・成徳地区】倉吉中央地域包括支援センター(上灘・成徳) (☎22-6102)
- 地域包括支援センターでは出前介護予防教室(無料)も実施しています。詳細は、お問い合わせください。

写実表現の現在いま



大賞 島村信之 『潮騒』 2007年

と き：10月8日(月)まで

と ころ：倉吉博物館(打吹公園内) ☎ 22-4409

休館日：9月18・25日、10月1日

開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

入館料：一般600円(400円) 大学・高校生300円(200円) 70歳以上の人は400円

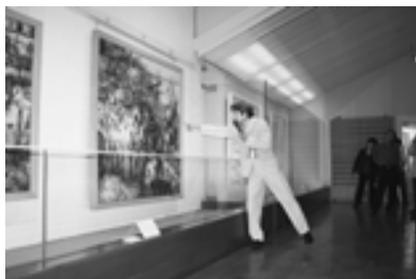
※()は協賛券・20人以上の団体

次の人は無料：中学生以下、障がいをお持ちの人とその介護者



▲受賞者の皆さん

9月8日(土)表彰式・ミュージアムトーク



◀ 受賞者自身による作品解説 ▶

大賞を受賞した島村さんは「写実画は、描き込むことによって実在感が増す。絵の具で『存在』を示せたときに感じる到達感が醍醐味」と語られました。モデルのお嬢さんも一緒に来場され、愛らしい笑顔を振りまいてくれました。

